

# 【SDGs】板グローブの制作で連携

仲田建築×井口スポーツ

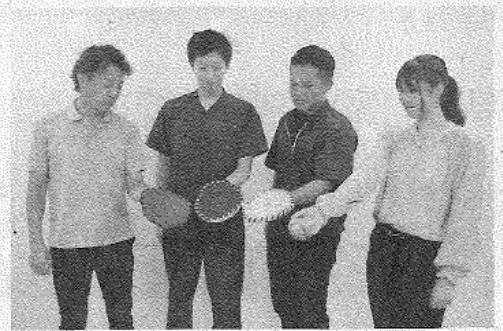
## 木製の「板グローブ」開発

### 野球練習用、廃材を活用

注文住宅などを手掛ける仲田建築（浜松市）とスポーツ用品販売の井口スポーツ（同市）は、野球の練習に使う木製の「板グローブ」を開発した。建築に使われない端材を活用した。10月中旬に同市内にある井口スポーツの店舗で発売する。価格は5000〜6000

円を想定する。一般的な板グローブは革でつくることが多い。通常のグローブより硬いため、手を添えながら捕球する。送球への素早い動きを身につける練習になるという。

開発した製品は「革製より価格を抑えた」（井口スポーツ）。仲田建築が廃棄することが多かった端材などを切り取り、井口スポーツが組み立てる。黒や黄色など5色を用意した。年間500個の販売を目指す。



廃棄される素材を使った環境にやさしい商品として売り込む

両者は一般家庭向けの野球練習用ネットなどの製造・販売でも連携する。建設現場などで使う足場材を活用し「耐久性を高めた」（仲田建築）。庭や駐車場など設置場所に応じて設計する。井口スポーツが注文を受け付ける。

仲田建築はスポーツをする子供をもつファミリー層の顧客開拓につながる。井口スポーツにも商材の幅を広げられる利点がある。両者と関わりのあるLPガス販売のエネジン（同市）が引き合わせた。仲田建築が端材の活用方法で井口スポーツに持ちかけ、板グローブの開発が決まったという。

日本経済新聞に、木製板グローブ開発についての記事が掲載されました。端材の有効活用を考える仲田建築さんと、野球人口の減少に危機感を抱く井口スポーツさんをエネジンが結び付け、それぞれが抱える課題を持ち寄ることで、新たな事業の開拓につながりました。これは、SDGsの④⑧⑨⑫⑮⑰に該当する取り組みです。今後は、一般家庭向けの野球練習ネットの製造・販売でも連携していきます。

これからも、地域の皆様や地元企業様のお役に立てるような取り組みを継続していきます。

令和4年(2022年)10月8日(土)

日本経済新聞

